

環境経営情報システム

環境負荷と環境会計を把握し、環境経営を推進するための意思決定支援システムです。

「環境経営情報システム」は、事業活動の各工程および活動全体の環境負荷、環境コスト、環境改善効果を把握するためのシステムで、「環境負荷情報システム」と「環境会計システム」で構成されています。集計・加工したデータは、環境経営のための意思決定支援や各工程の改善、社会への情報開示に役立てています。2002年度は、このシステムの構築・運用範囲を海外に水平展開しました。

環境負荷情報システム

コミットサークル^{*1}のコンセプトである「全ステージでの環境負荷の把握と削減」に基づいて、事業活動の各工程および活動全体の環境負荷を集計するシステムです。集計したデータをもとに事業活動全体のエコバランス^{*2}を把握することで、環境負荷の大きい工程から重点的に改善することができます。このシステムは、環境行動計画^{*3}の策定や進捗管理にも活用されています。

*1 11ページを参照。

*2 27ページを参照。

*3 33ページを参照。

環境会計システム

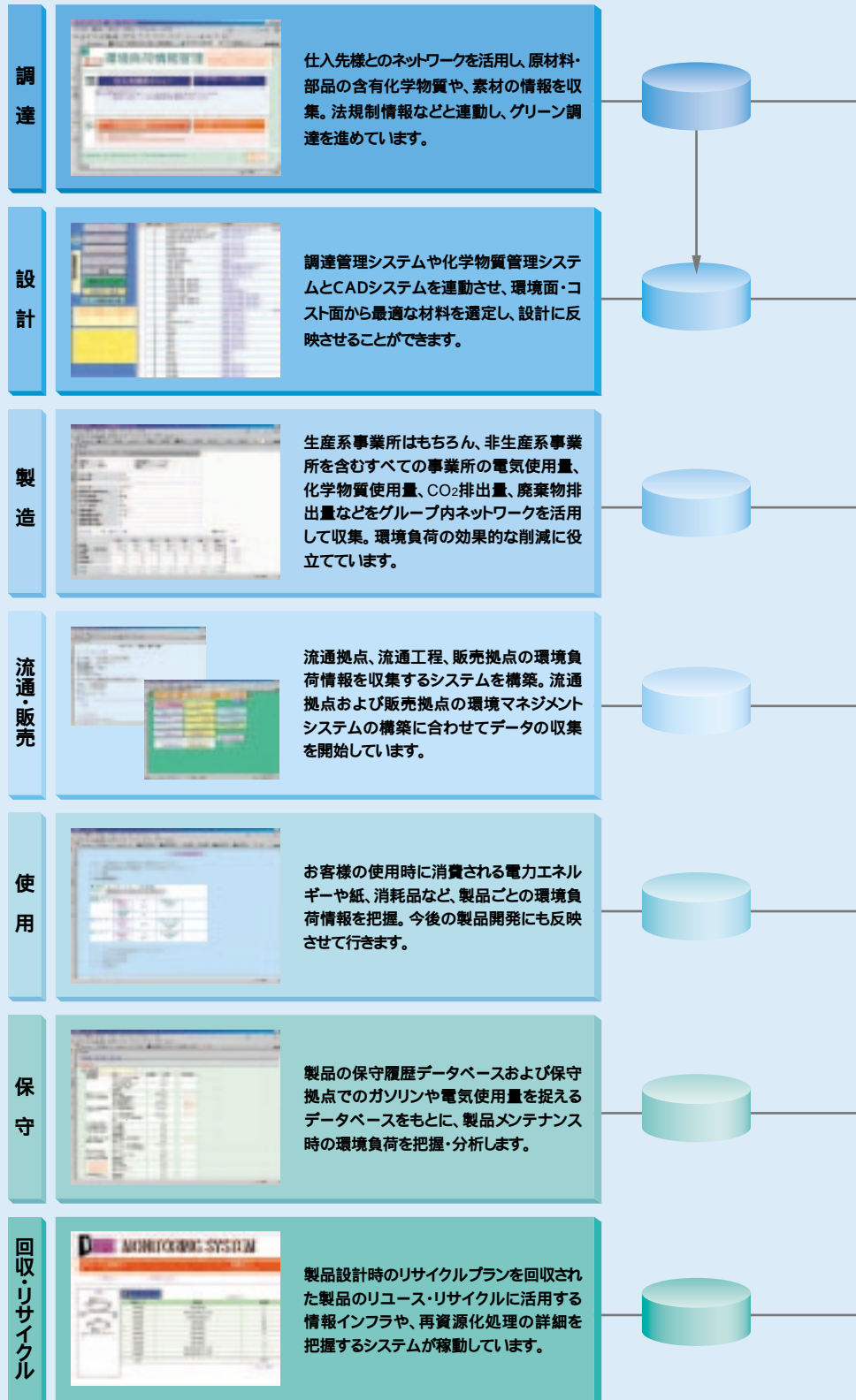
環境負荷情報システムの環境保全効果データと、会計システムの環境コストデータを集計し、環境経営指標^{*1}などに加工することにより、「コーポレート環境会計^{*2}」をタイムリーに把握するシステムです。

*1 32ページを参照。

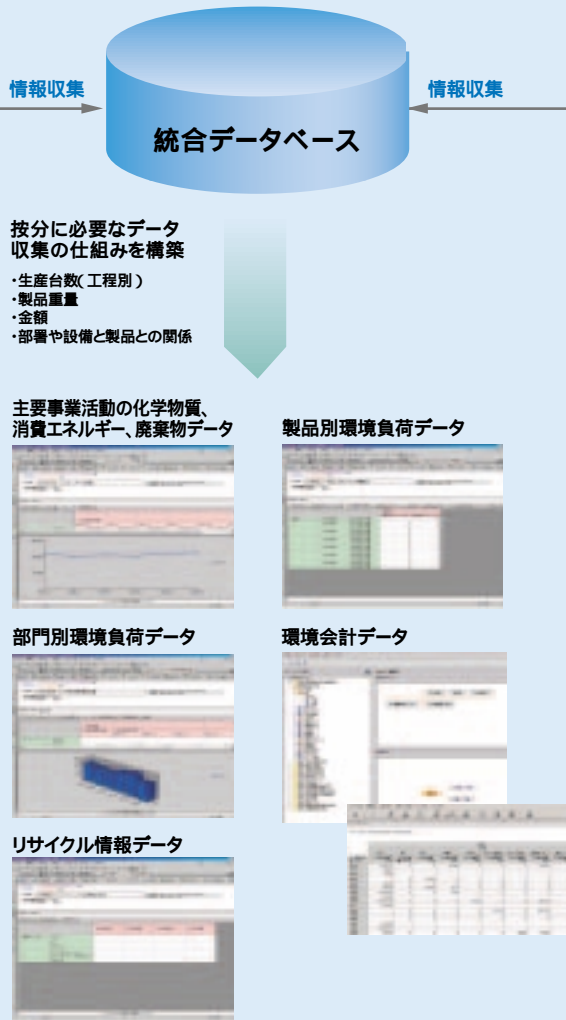
*2 31ページを参照。

環境経営情報システム

環境負荷情報システム



環境会計システム



情報解析
情報加工

PDCA(Plan-Do-Check-Action)のPとCを
推進するための情報が導き出されます。
* 23ページ参照。

エコバランスの把握 27ページ参照。

環境行動計画の策定・進捗管理 33ページ参照。

コーポレート環境会計 29ページ参照。

